

「市民企画会～地域の魅力発見～」

福室市民センター

1 事業概要

地域住民が企画員として、地域の素晴らしいもの、魅力あるもの、伝えたいものなどを見つけ出して発信する講座を企画・運営しています。平成21年度の講座に参加したメンバーが作った「高砂おたから探訪の会」が企画員の中心となり、活動を通して、自らのスキルアップに留まらず、他の参加者へ発信していくことによって、仲間を増やし、より愛着のある地域づくりを進めています。



2 今年度の活動

企画会議を9回開催し、講座は3回企画・実施する予定です。地域内の最大施設と言える仙台港について講座を企画し、12月11日に「仙台港開港50周年」として開催しました。宮城県港湾課の方を講師としてお招きし、東北の人々の生活に欠かせない仙台港の歴史や役割等についてお話を伺うことができました。2月5日には、地域内にあるもう一つの重要施設「南蒲生浄化センター」をテーマに開催する予定です。その後、「蒲生干潟」に関する講座も検討中です。



さらに、企画員の勉強会として、1月16日に「江戸時代の疫病と人々」と題して、公開学習会を開催します。また、平成30年度に作成した「福室100景いいトコガイド」が好評で今年増刷しました。地域の魅力をまとめた冊子で、今後も、多くの方に「地域の宝物」を知っていただければと思います。なお、市民企画委員の皆さんは福室小学校・中野栄小学校の児童を対象とする「ふくむろ歴史ウォーク」の講師も務めました。



3 成果と課題

企画員の皆さんは地域の魅力や課題を検討したうえで住民のニーズにこたえる講座を企画し、さらに自ら実施しています。企画員の講座を運営する能力は回数を重ねるごとに高まっています。また、企画内容も地域の魅力、特性を発信するものとして好評のうちに受け止められています。そういった意味では、本講座は企画員の生涯学習能力の向上に資するとともに、地域社会の活性化にも寄与しているといえます。ただ、コロナ禍のため、企画会が思うように開けず、講座の実施を年度後半に集中してしまうことになり、自然や季節を取り上げた講座を開催するのが難しくなりました。この点は悔やまれるところです。



4 今後の展望

今後は、増刷した「福室100景いいトコガイド」を一層活用するとともに、そこでは取り上げていないテーマを扱う講座を企画するなどして、冊子内容の補強を進めていくつもりです。

